

令和 7 年度 第 2 回吹田市障害者福祉施設等整備補助事業者選定委員会 議事概要

1 日時

令和 7 年（2025 年）11 月 27 日（木）9 時 30 分から 11 時 30 分

2 場所

災害対応オペレーションルーム

3 出席委員

A 委員長、B 委員、C 委員、D 委員、E 委員

※5 名全員出席により、会議は成立。

4 議題

障害者福祉施設等整備補助事業者の選定について（書類審査・プレゼンテーション審査）

【会議要旨】

(1) 委員会開会

事務局より、出席委員 5 名全員の出席により、選定委員会規則第 5 条第 2 項に規定される定足数を満たし、会議が成立したことを報告。本委員会は吹田市情報公開条例第 28 条第 2 号に該当するため、非公開で開催。

(2) 諮問

(3) 審査案件の説明（事務局）

審査案件：グループホーム新設（共同生活援助事業）

応募者：1 社

応募資格：募集要項の応募条件等をすべて満たしている。

選定基準：各委員の審査得点の平均点が満点（90 点）の 60%以上（54 点以上）で選定可能

(4) 応募者によるプレゼンテーション審査

(5) 主な質疑応答

委員

質問 1: 建物構造と避難計画について

建物が地下 1 階、1 階、2 階の 3 層構造で、入居予定者 6 名中 5 名が車椅子利用者である。地下に入浴設備があり、エレベーターも地下から接続しているが、災害時の避難方法はどのように考えているか。特に、地下で入浴中に上階で火災が発生した場合や、エレベーターが使用できない状況での避難について。

回答（応募者）

避難訓練は生活介護事業でも実施しており、寝ている状態や車椅子に乗っている状態からの避難を練習している。職員 2 名で利用者を抱えて避難する方法を想定。職員は最低 2 名を配置する予定。

回答（応募者）

建物は住宅地の傾斜地にあり、道路レベルから見ると地下 1 階は実質 1 階に見える構造地下 1 階は避難階として設計し、2 方向避難を確保（玄関と浴室からの避難口）。寄宿舍としての建築基準法、バリアフリー法、福祉のまちづくり条例をすべてクリアする設計。玄関ホールの扉と浴室側の扉の 2 カ所から道路への避難が可能。

質問 2: 職員の居室と情報管理について

世話人や生活支援員の休憩室・居室はどこか。また、利用者の個人情報を管理する場所はどこに設けるのか。

回答（応募者）

土地を先に購入してしまったのもあるが、エレベーターのサイズを大きくする必要があり、スペース確保が厳しかった。リビングに衝立を設置して世話人の休憩室とし、もう 1 名は精神的に不安になる利用者のため同室入眠を検討。書類管理もリビング内にロッカールームを設置予定。

質問 3: 男女の職員配置について

配置予定の職員が全員女性だが、入居予定者に男性が 1 名含まれている。同性介助・介護の観点からどのように考えているか。

回答（応募者）

男性職員を1名雇用するのは経営的・人間的に厳しい。居宅介護（ヘルパー）を導入して入浴介助等をサポートしてもらうことを検討している。ただし、夜間の着替えやトイレ介助は女性職員に集中してしまう可能性がある。

質問4：感染症対策のゾーニングについて

BCPに感染症対策は記載されているが、ゾーニングについての記載がなかった。新たな感染症が発生した場合、この建物でどのようにゾーニングを行うのか。

回答（応募者）

既存のグループホームでは完全なゾーニングは厳しく、コロナ流行時はマンスリーマンションを借りていたが、補助金終了後は継続できなかった。新ホームでは階が分かれているため、ゾーニングができるようBCPマニュアルを作り直す予定。

質問5：入浴マニュアルについて

最近、高齢施設や障害者施設で入浴事故が多発している。入浴マニュアルはどのように整備されているか。

回答（応募者）

既存のグループホームでは自立度が高い利用者が多く、入浴マニュアルは作成していない。新ホームでは機械浴を導入予定で、利用者と一緒に業者のところへ体験に行き、危険性も含めてマニュアルを検討したい。

委員

質問1：借入返済計画について

償還計画を見ると、年度によって返済額が変動している。これは何か理由があるのか。また、7年での返済は厳しいのではないか。もっと長期の返済計画は検討しているか。

回答（応募者）

返済額の変動は、収入の稼働率に連動している。1～2年目は80%、3年目以降は90%を見込んでいる。入居予定者の状況から、年々土日もホームで過ごす方が増えると想定し、収入増を見込んでいる。7年返済は現状では可能と判断しているが、より長期の返済も検討が必要と認識している。

質問 2：報酬改定と人件費の影響について

令和 9 年度に報酬改定が予定されているが、収益の見込みや人件費の増加についてどう考えているか。

回答（応募者）

報酬改定を見込んで、収入は低めに見積もっている。人材確保は苦勞しており、紹介会社への手数料や派遣職員費用が増加している。しかし、既存事業の事業活動収支差額は直近 3 カ年平均で約 1,000 万円を計上しており、既存事業で横ばいの収益率を維持できれば返済可能と考えている。

委員長

質問：法人本部との近接性のメリットについて

法人本部と近い位置にあることの具体的なメリットは何か。

回答（応募者）

生活介護の常勤職員がグループホームを兼務できる（送迎後に入浴介助等に入れる）通院等でホームに来られない利用者がいても、すぐに対応できる。

災害時に生活介護とグループホームで相互に一時避難が可能。

ヘルパー派遣事業との連携もスムーズ。

(6) 採点

各委員が書類審査及びプレゼンテーション審査の内容に基づき採点を実施。

採点結果

平均点：70 点（満点 90 点）

選定可能ライン：54 点（満点の 60%）

結果：選定可能な点数を獲得

(7) 審議

委員からの主な意見

委員

入浴マニュアルがないというのは問題。早急に作成してほしい。

また、同性介護について、法人理念に権利擁護を謳っているのに、「やる」と言っていない。

委員

土地を先に購入してしまったため、無理が生じているように感じた。

委員

選定にあたり、委員からの意見を踏まえ、事務局から運営について改善をお願いしたい旨を伝えてはどうか。

事務局

議事概要に委員からの意見を記載し、事業者に指摘事項を伝える。

採点結果に基づき、令和 7 年度障害者福祉施設等整備補助事業者（令和 8 年度整備分）の候補者として選定することについて審議し、委員全員が合意した。

(8) 答申

令和 7 年度吹田市障害者福祉施設等整備補助事業者（令和 8 年度整備分）の候補者として選定する旨の答申を行った。

(9) 今後のスケジュール（事務局より説明）

令和 8 年 3 月頃：市議会で予算審議

令和 8 年 4 月頃：国庫補助協議を実施

令和 8 年 6 月頃：補助金交付内示

令和 9 年 3 月頃：対象施設整備完了

令和 9 年度 4 月頃：補助金交付

(10) 閉会